

さんらくえん通信

第7号

発行責任者:鈴木常元 編集責任者:田村匡彦 編集:下野三楽園編集委員会

ペーパークラフト



手作りのクリスマスカードに取り組む姿は、皆真剣でとても丁寧でした。心を込めて作ったカードが皆の大切な人に届きますように。(神山)



チョコバナナ



チョコバナナ開店16年目の今年は過去最高の450本を用意。わずか3時間弱で好評の内に無料配布完了です。(西宮)

篠井地区秋祭りが、十一月三日(祝)篠井地区市民センターで開催されました。三楽園では、毎年恒例のチョコバナナに加え、ペーパークラフト、太鼓演奏で参加、地域の方々と一日存分に楽しみました。

和太鼓演奏



低学年生にとっては、初めての太鼓発表です。沢山の見学者が集まり、周りを囲む中で2曲演奏しました。少し照れながら全員で楽しく元気にできた『太鼓ばやし』、続いての高学年実力派メンバーによる『海の太鼓』はお見事でした。(川俣)

下野三楽園秋の恒例参加行事
地域とひとつ！篠井秋まつり

私はチョコバナナの看板を作りました。一人で作ったのでたいへんだったけど、秋祭当日になっていろいろな人たちがみてくれたのでうれしかったです。秋祭当日では、今年のチョコバナナが一番が早く売れたと思います。来年は、今年より多くチョコバナナを作り、もっと地域の人たちを喜ばせてあげたいと思います。

中1 Y・K

下野三楽園のこだわり

園長 田村匡彦

9つの小舎から成る養護施設であった三楽園は桜四丁目から昭和46年6月篠井に移転しました。

今、児童養護施設はユニットケアと呼ばれる生活単位(人数)の小規模化に取り組んでいますが、三楽園は創設以来小さな生活単位毎に職員を配置し、同じ声で子ども達が朝起床し、同じ声で子

も達は夜就寝するという家庭的な養育環境を大切にきて来ました。そのため職員配置についての見直し改善にも努めています。

今建替え中の三楽園は住み込み断続勤務を継承した定員40名の小舎制の施設です。子ども達に安心と安全を確保することを目指し、心の豊かさを育てることを願い、今新たな挑戦を始めようとしています。建設工事は予定通り順調に進んでいます。



秋の居室旅行

「海は大きいぞー!」

杏子居室一泊旅行

台風が通過した九月二十五日、大洗へ一泊旅行に出かけました。小雨模様の荒れた海と、翌日は晴天の穏やかな海。どちらも同じ海です。子ども達は、海岸から、遊覧船上から、海の姿と大きさを感じる事ができました。(荒井)



波と追いかけて。逃げ遅れてクツが…。



ウミネコとも遊びました。

私は、杏子のみんなと茨城県に行きました。初めて行く所なので、すごくわくわくしていました。海岸散歩やかいぞく船にも乗り、とても楽しかったです。ホテルでのごはんも、とてもごう華でした。また、行きたいです。

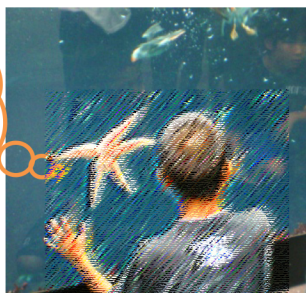
小6 N・M

「泳いで、食べて、観て三昧」
Aブロック小中学生一泊旅行

今年には福島県にあるスパリゾート・ハワイアンズホテルに泊まりに行きました。一日目はハワイアンズのプールで丸一日泳ぎ、夜はバイキングで食べ放題。二日目はアクアマリン福島水族館へ行きました。子ども達の喜び姿が見られて職員も満足の一泊旅行になりました。(石川直)



僕が一泊旅行で楽しかったのは、福島県にあるハワイアンズのウォーターライダーで何回もすべれた事です。あと温水プールが温かくて気持ち良かったです。夕ご飯のバイキングでは大きいエビがでて、おいしかったです。 小5 U・Y



ヒトデって、こんなに大きいんだ。飼いたいな…。



メニューには、何とオマールエビも登場 感激でした。

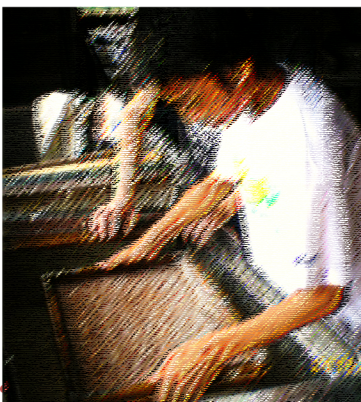
社会に向けての第一歩 自立促進事業 3

「職人魂に触れる!」
紙すき体験と野球観戦

九月十一日から一泊二日で埼玉県に中高生二名で自立促進事業に出かけています。埼玉ドームでは、パリーグの優勝争いが白熱した中での緊張感のあるとても良い試合でした。職業体験では、紙すき体験を行いました。和紙の原料がコウソというものであったり、職人さんの無駄のない動きを見ることができ



たり、子ども達も初めて体験することが多い一泊二日の旅だったと思います。機会をみてまた新しい体験ができるように考えたいです。(石川忠)

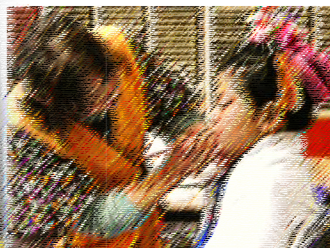


見よう見まねの紙すき体験 職人さんの技のすごさを知りました。

『お力添え、ありがとうございます。』

下野三楽園の縁の下の力持ちは、地域内外からのサポーターの方々。一年を通して、様々な形で私たちを支えて下さっています。

居室担当職員も一緒にお詣りしました



今日だけは、お化粧もします。ちょっと緊張気味?!

ねらいをつけて「エイっ!!」、でも、一刀両断とはいかないなあ。



栃木県出身、22歳のレーシングドライバーの山本尚貴選手が三楽園の子ども達に会いに来てくれました。幼い頃からの目標を実現した山本選手は、夢を抱いて生きる事の楽しさと厳しさを自らの経験を基に伝えてくれました。(石川直)

本物のレーサーが来た!
『山本尚貴氏が語るレースの世界』

おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に『お楽しみ会』…篠井ひまわり会

ぎゅうにゆうパックとわごむでできたカエルのおもちやをつくりました。てでおさえてからはなすとピヨーンとおおきくとんだのがびりくりしておもしろかった。そとでスイカわりをしたけど、あたらなかった。(6才M)

このまえ七五三にいきました。さいしよはしゃしんをとりました。おかねを十えんいれて、すずをならしたけど、あんまりなりません。そのあと、コスについて、スパゲティをたべて、トイザラスについて、おもちゃをかいました。(小K)

毎年、七五三の貸衣装の提供及び着付けのボランティアをして下さっています。園の子ども達も伝統行事に正装で臨みます。

大きく育てと願いを込めて『七五三祝』…宇都宮マロニエライオンズクラブ

毎年十一月のこの時期、生徒さんが産物を持って来られます。学院では世界的行事を通して社会人としての教育をされているとのこと。本精神は私達も学びたいものです。(小山)

沢山の野菜と果物にびっくろ『感謝祭訪問』…作新学院中部



幼児さん達は、頂いた野菜と果物を並べて、早速写生です。出来栄はピカソ? それともゴッホ?

大好きなにんじんをいっぱい抱え過ぎたAちゃん。お、落ちる〜!!



丹精込めて育てた「作新米」もいただきました。

秋の三楽園フォトブック

自然の恵みに感謝して、いただきま〜す。

十五夜
だんご作り



にぎって、丸めて、ユニークなお団子の出来上がり！



栗ひろい



三楽園の周りには自然の宝庫。今日は栗ひろいをして、3時のおやつにいただきました。



施設整備に伴い、これらの建物とも、この夏お別れをしました。
(上)旧管理棟
(左)旧保育棟



紅葉に染まる榛名山は借景となって、新施設を彩ります。
(右)建設中の建物を彩ります。

ありがた
有難し

「ありがた」とはの語源

「私」の「私」

おとうさん おかあさんから

おとうさん おかあさん

の「私」

四人のおじちゃん おばあちゃん

から

おじちゃん おばあちゃん

「の」の「私」

八人のひいおじちゃん ひいおばあちゃん

ちゃんから

ひいおじちゃん ひいおばあちゃん

の「の」の「私」

十六人の……

こうして二十代さかのぼると

二百万人を超える先祖がいるて

知てた？

その誰か一人でもいなかたら

今の私はいな

みんなかけがえないの「私」

「私」の「私」 あなた「私」の「私」

ありがた「私」の「私」 ……有難し

日光山輪王寺 今井昌英

入所状況 12月1日現在

	男	女	計
幼児	2	4	6
小学生	9	8	17
中学生	4	4	8
高校生	4	5	9
計	19	21	40

※ 上記の他、11月に4名(幼児3、小学生1)の一時保護委託を受けました。

「ケ・セラ・セラ(なるようになる)」「レット・イット・ビー(なすがままに)」は、何もしないということではない。今、やるべき事に全力で取り組み、やり尽くした後は、その結果全てを受けとめるという深い言葉なのだ、そう自らを戒めた秋の一日。逃げない。諦めない。(Y)



発行元：
社会福祉法人 下野三楽園

〒321-2105 栃木県宇都宮市下小池町 194 番地
Tel : 028-669-2131 Fax : 028-669-2241
E-mail : shimotsuke-sanrakuen@nifty.com